

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書  
(平成30年度)

園名 ( 三木市立緑が丘東幼稚園 )

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○子どもたちにどのような力を育て、どんな子に育てて欲しいかが明確になっており、子ども同士、友達を尊重し、かつ、協力しながら何かに取り組むことが大切にされている。特に、生きる力の基礎として、協同する力が育まれている。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○4・5歳児が共に活動する場があり、充実した遊びが展開されている。特に、4歳児が5歳児に対して憧れの気持ちを持ちながら、それを子どもたち同士の振り返りの中で取り上げ、意識できるように保育がなされている。子どもの気づきを元に、遊びや生活を自分たちで豊かなものにしていく過程が大切にされている。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○子ども同士の遊びが充実する中で、トラブルが発生した時にも、自分の気持ちを表現しつつ、お互いに折り合いがつけられるように、気長に見守る姿勢が保育にあらわれている。一人一人が取り組んでいる活動について、自信が持てるように、保育者が認めたり、皆の前で取り上げたりして、自尊感情が育まれるようになされている。
IV	小学校との連携	○幼小連絡会(年2回)、保幼小中連絡会(年2回)を定期的に行い、隣接小学校とは連携を密にとっている。就学先の小学校教諭が来訪し、子どもの様子を見る機会がある。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○保護者には理念や基本方針を記載した「入園に関するお知らせ」を入園説明会時に、説明会欠席者や途中入園者には、その都

		度、個別に配布し説明している。説明会では、写真を使用したパワーポイントにより分かりやすく伝えている。
VI	保育教諭の資質向上のための取組	<p>○毎日、全職員参加の職員会議を行い、情報共有・意見交換・検討がタイムリーに行える仕組みがある。内容に応じて、「幼稚園日誌」や「職員会議録」に記録し、次年度の取組にも反映させている。</p> <p>年間研修計画をもとに研修を実施し、個別の研修履歴で受講状況を把握しながら、研修報告書や職員会議での伝達で、職員に周知を図っている。</p>
VII	安全管理	<p>○園危機管理マニュアルを整備し、地震や火災時避難訓練、不審者対応訓練を訓練指導案（計画と実施記録を兼ねている）に沿って実施している。遊具等は、月1回チェック表で安全点検を行い、修理等の必要時は、市と連携して対応している。感染症研修を実施し、事故・ケガ等の再発防止について職員会議で検討している。アレルギー疾患に対して、指示書等に基づいて適切に対応している。</p>
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<p>○老人会の方との花壇作り、デイサービスや認知症カフェとのふれあい交流、地域の方の参加型運動会・お餅つき、園庭開放「たんぽぽ広場」等、地域との交流や連携に取り組んでいる。今後は、公民館で開催中の乳幼児教室との交流も検討している。</p>
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	<p>○地域ボランティア団体(コーラス・人形劇・日本舞踊・茶道等)と連携を図り、保育の向上に取り組んでいる。民生児童委員へ園だよりを配布したり、発表会に招待したりしている。</p>